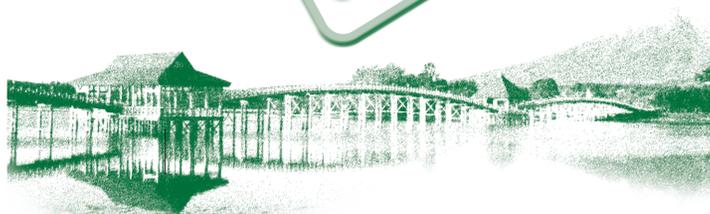
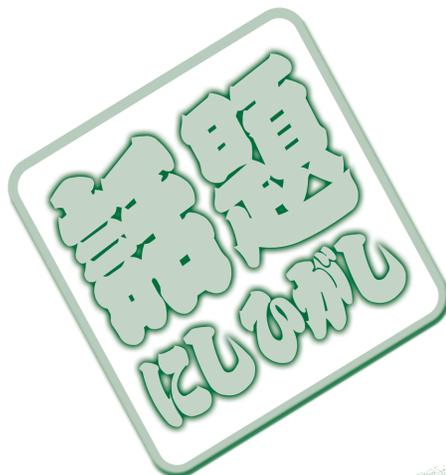


## スチューベンで草木染め

6月27日（木）、胡桃館小学校において親子レクリエーションが行われました。2、3年生14名とその保護者はスチューベンの皮を使った草木染めに挑戦しました。

講師に鶴田町地域おこし協力隊の山田夫妻を向かえ、児童たちはビー玉やペットボトルの蓋を白いガーゼで包み、輪ゴムできつく縛り模様をつける準備を行いました。スチューベンの煮汁に10分間漬けた後、丁寧に水洗い。児童たちは丸や四角などひとりひとり個性的な模様がついたハンカチをを友だちと見せ合っていました。

参加した児童は、「きれいに染まってよかった。家でもまたやってみたい」と話していました。



あなたの地区の楽しい催しや出来事などがありましたら、役場企画観光課まちづくり班（内線262）までお知らせください。



△完成したハンカチに満足げな児童

## 元気に汗を流す

鶴田きらめきクラブは7月2日（火）、鶴田町体育センターでスポーツ大会を開催しました。町内のお年寄り約120人が障害物走や玉入れで汗を流していました。

この大会は、同クラブが地域のお年寄りの親睦を深めるために毎年開催しています。参加者は競技の前に「つるりん体操」で丁寧に体をほぐし、地区ごとに5チームに分かれ、競技を行いました。

「玉入れ」では1チーム15名で1人5個までしか玉を投げられないので、ひとつひとつ集中して玉を投げていました。

参加者は「体を動かして気持ちいい。人に会えるのも楽しい」と話していました。



△つるりん体操で体をほぐす参加者たち

## ふるさとに思いをはせて

関東地方に住む鶴田町出身者でつくる「ふるさと鶴田会」(川村正五会長)の総会が7月6日(土)、東京グリーンパレス(東京都千代田区)で開かれ、参加者約110人が再会を喜び、親睦を深めました。

会場では毎年人気の干し餅や町のマスコットキャラクターのつるりんグッズ、鶴田町産のサクランボなどが並び、参加者の皆さんがふるさとの味を買い求めています。

アトラクションでは、津軽三味線や会員によるスコープ三味線の演奏など多くが披露され、会場は盛り上がっていました。最後に会場内全員で「ふるさと」を合唱し、また来年元気で再会することを誓い合っていました。



△参加者はツル多はげます会名物の吸盤綱引きにも挑戦しました



△交通標語などを手渡して安全運転を呼び掛けていました

## 安全運転を呼び掛ける

7月18日(木)、梅沢小学校の6年生6人が横范ふれあいセンター近くの通学路で、交通安全街頭啓発を行いました。

この街頭啓発は毎年行われており、今年で20年目を向かえます。街頭啓発では子どもたちが考えた手書きの交通標語とティッシュを配布しており、子どもたちから「安全運転をお願いします」と声をかけながら渡されると、ドライバーは笑顔で受け取っていました。

当日参加した子どもたちは、「通学路にもなっているので、ドライバーの皆さんには歩行者の安全に気をつけて安全運転をしてほしいです」と話していました。

## 子どもたちのさらなる活躍を願う

鶴田れぢおん倶楽部(瓜田稔会長)は7月23日(火)、鶴田町武徳館で鶴田町出身の全国高校総合体育大会(インターハイ)出場選手へ、支援金を贈りました。

同会は、町の若手経営者や事業主などで構成されており、平成4年から講演会の開催や文化祭等イベントへの参加などの活動を続けています。また、毎年中学校へも支援金を寄附しており、今年で5回目になります。

今年度は初めてインターハイ出場選手にも支援金が贈られました。瓜田会長は「町では小学校などには支援金を贈っているのは知っているが、インターハイ出場選手に贈っていないと思い、今回贈らせていただきました。子どもたちのより一層の活躍を願い、今後も活動を続けていきたい」と話していました。



△インターハイに出場する選手たちと瓜田会長(写真右から2番目)たち